

令和8年度九度山町立九度山中学校（学校経営方針）スクールプラン

九度山町学校教育目標

豊かな人格の形成を図ることを主眼として、人間尊重を基盤とした心のふれあう充実した教育を通して「生きる力」をはぐくみ、主体的に生きていく元気な児童・生徒を育てます。

保護者・地域の願い

- ・思いやりのある子どもに育ててほしい
- ・学力をきちんと身につけてほしい
- ・地域に誇りをもってほしい
- ・魅力のある学校であってほしい

【学校教育目標】

自ら考え正しく判断して行動し、他者とも協働しながら、自分の夢の実現に向けて努力できる生徒の育成

【めざす生徒像】

- 1 主体的・対話的で深い学びができる生徒
- 2 互いに認め合い、自分も他者も大切にする生徒
- 3 たくましい心と体をもつ生徒
- 4 夢や希望に向かって努力する生徒
- 5 地域や学校に誇りをもつ生徒

前年度の学校評価

- ・子どもたちにあった教科指導の工夫改善に取り組んでいただきたい
- ・自分と向き合い、他者を尊重する、豊かな心を育む取組を進めていただきたい
- ・開かれた学校づくりにより取り組んでいただきたい

生徒の実態

- ・学習態度はおおむね良好であり、学校生活が楽しいと感じている生徒が多い
- ・自分の考えを述べたりまとめたりすることに苦手意識を持つ生徒が多い

重点目標

基礎・基本の定着と主体的・対話的な学び

- ・質の高い授業の推進
- ・個別最適な学びの推進
- ・家庭学習の充実
- ・PC端末およびデジタル教科書の有効活用

豊かな心とたくましい心身の育成

- ・安心して生活できる、落ち着いた学校環境
- ・よりよい人間関係の形成
- ・道徳教育、人権教育の推進
- ・体力の向上

夢や希望に向かって努力できる生徒の育成

- ・体験活動の充実
- ・自立への取り組みの充実
- ・キャリア教育の推進
- ・ふるさと教育の推進

具体的な取組

- 研究主題に基づき、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行う
- 指導の個別化と学習の個性化をはかり、生徒の個別最適な学びを推進する
- 授業規律の確立に努め、基礎・基本の確実な定着に向けた方策を徹底する
- 九中タイムを有効に活用しながら、家庭での基本的な生活習慣・学習習慣の確立を目指す
- デジタル教科書やデジタル教材を活用した授業研究を推進し、全教員で授業改善に取り組む

- 互いの人権を尊重し、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、協力し合う態度を育む
- 道徳科では、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、議論することを通して、自己の生き方についての考えを深める授業作りを行う
- 生徒が進んで運動に親しみ、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯を通じて明るく健康で安全な生活を営むための体力と態度を養う

- 自己のよさや可能性を認識し、自分らしい生き方を探る力や、夢や希望をもち叶えるため、最後まで諦めず努力する態度を育てる
- 豊かな体験活動（職場体験やボランティア活動）を通して、規範意識と社会性の育成に取り組む
- 自立のため、自己肯定感・達成意欲・自己効力感を高める
- ふるさと教育の推進を図り、地域に誇りを持ち、地域社会の一員としての自覚を高め、「人や社会とのつながりの中で活躍できる」生徒の育成に取り組む

指標

- ・全国学力学習状況調査の正答率が県平均を上回る
- ・学校の授業がよくわかる（生徒95%）
- ・自分の考えを述べることができる（生徒90%）
- ・自分の考えをまとめることができる（生徒90%）
- ・全教員によるデジタル教材を活用した授業研究

- ・学校へ行くのが楽しい生徒（生徒95%）
- ・思いやりや優しさの気持ちで生活（生徒95%）
- ・いじめの解消率100%
- ・先生は相談しやすい（生徒90%）
- ・運動能力調査が県平均を上回る

- ・先生は自分の努力を認めてくれた（生徒95%）
- ・学校行事に意欲的に取り組んだ（生徒95%）
- ・社会のルールについて学んだ（生徒95%）
- ・体験活動での生徒の変容（感想・発表）